

2月インターンは最大のチャンス 本選考のつもりでESを書こう

——このインタビューの公開は1月ですが、それからでも行動すべきでしょうか？

坂本 じつは、2月のインターンがいちばん内々定が出るんです。なぜなら、本選考がはじまる前に企業が学生を確保できる最後のチャンスだからです。

——優秀な学生がある程度おさえておきたいということですか？

坂本 そうです。夏インターンが終わってもまだ秋、冬、本選考と採用の機会があります。優秀な学生を獲得できるチャンスはしだいに減っていきます。最近では、本選考にはあまり期待していないという企業もあります。なぜなら、意欲的で優秀な学生は、インターンにたくさん参加し、すでに多くの企業から内々定を得ているからです。だから企業は、春インターンまでに有望な学生を確保しておきたいと思っています。

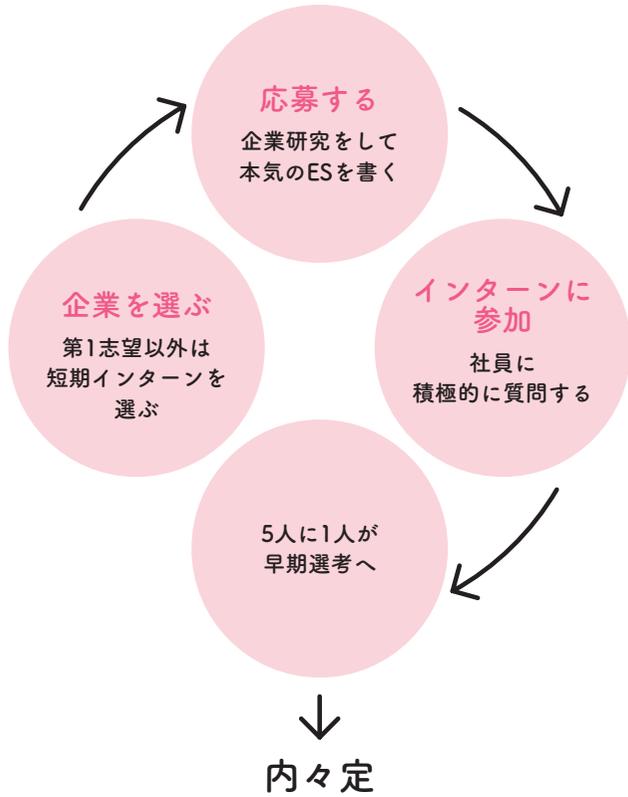
——このインタビュアーでその事実を知って、すぐに2月インターンの準備するのは大変だと思うのですが、どうすればいいでしょう？

坂本 インターンで内定が出る学生には特徴があります。それは、本選考のつもりでESを書き、面接を受けているということです。企業は、本気で志望している学生を探しています。

——インターンは軽い気持ちで受ける人が多いですかね。

坂本 ほとんどの学生は、その会社のことや仕事を知りたいという理由で応募します。それが悪いわけではないのですが、内定をもらえるのはインターンときから志望度が高い学生です。「結婚相手にふさわしいかどうか知りたいので付き合わせてください」ではなく、「結婚したいので付き合ってください」と申し込

インターンから内々定をねらうなら
このポイントをおさえる



んでくる学生さんですね。そうすると、企業も本気さを感じて、本気で接するわけです。

——熱意を伝えることが重要なんです。

坂本 ここでもポイントとなるのは、その会社の魅力を事前に見つけているかどうか。つまり、事前に企業研究をしているかどうかが重要です。ほとんどの学生は、企業研究をろくにせずにインターンを受けにくるんです。

——企業の魅力を見つけるためにインターンにくるんです。

坂本 そうなんです。でも、企業のIR情報、経営計画、プレスリリース、経営者メッセージなんかは、全部スマホで簡単に目を通せるんです。そこを見て、自分が魅力を感じるかどうかをチェックすればいいんです。

——告白する前に相手をよく知るといふことですね。

坂本 事前に調べていると、ただ「仕事に興味があります」ではなくて、「御社の経営計画書の○○ページに書かれていた□□という事業に取り組みたいです」とか、具体的に言えるようになるわけなんです。